

【9月10日（金）臨時朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。今日は、臨時の朝礼を行いました。

昨日、新型コロナウイルスの感染拡大の現状を受け、12日までだった緊急事態宣言が今月末の30日まで延長されることが正式に発表されました。

それを受け、6年生の修学旅行の再延期に続き、17日の予定していた5年生の日帰りの野外活動も、11月に再延期をせざるを得なくなりました。

9月1日の朝礼でもお話しましたが、新型コロナウイルスは変異をしながら、どんどん感染力を増しています。最近「ミュー株」という、デルタ株よりもワクチンが効きにくい可能性がある新しい株も出てきています。特に私たちが住む愛知県は、まだ第5波のピークが見えない状況です。一日の新規感染者は連日1000人を超え、毎日のように死者も出ています。重症者の数も、病院のひっ迫も、今まで経験をしたことがないレベルになっています。

今まで経験したことがない状況の中で学校生活を送るためには、今までと同じ意識で生活してはいけません。今まで経験をしたことがないくらいに意識を高めなければなりません。

特に高学年のみなさんは、「マスク」「手洗い」「換気」「ソーシャルディスタンス」をしっかりと意識して行動している人が多いと感じます。給食後も、ほとんど私語をすることなく、マスク姿で静かに本を読んだり勉強したりする姿が見られます。

では、その他の学年はどうでしょうか？自分の学年を思い浮かべてください。特に、休み時間、給食や掃除の時間の様子はどうでしょうか？担任の先生の「声を出さない」「静かにします」という指示が聞けず、おしゃべりをしたり、マスクを鼻までしっかりと付けることができなかつたりする人はいませんか？それは、今の状況では絶対にダメなのです。「1年生だから」とか「低学年だから」という甘えは許されません。

これだけたくさんの方が集団生活を送っているのですから、制限や約束が多くなるのは仕方のないことです。勝手な行動はダメなのです。一人の甘えや気のゆるみが、周りの人の命にまで関わってくるのです。今は、それくらい危険な状況であることを、一人一人が自覚をして行動してください。

早く、以前のような生活に戻って欲しいと、誰もが願っています。しかし、その実現は今の我慢の先にしかありません。

近くの小学校や中学校でも、学級閉鎖になっている学校がいくつかあります。新型コロナウイルスに罹ってしまうのは仕方がないことです。誰も責められることはありません。でも、集団感染を出してしまう、濃厚接触者を学校から出してしまうことは、仕方がないことではないと思います。努力によって防ぐことができます。そのためには、一人一人が「マスク」「手洗い」「換気」「ディスタンス」を意識して、「大声を出さない」「不必要にしゃべらない」などの約束を守っていくしかないのです。

どうか、みなさん。「今までとは状況が全くちがう」ということを、しっかりと自覚して安全な学校生活が送れるように、一人一人が協力をしてください。お願いします。

我慢の先に、笑顔の毎日が来ると信じ、全員でがんばりましょう。

これで校長先生のお話を終わります。